

浅川改修計画原案の流域説明会 概要 (豊野町)

平成15年5月12日 19:00~20:45

豊野町役場大会議室

参加者：64名

Aさん

基本高水のイメージが分からないが、360m³/s はどの位か。流量は面積×長さだと思うが、長さはどのくらいの感覚か

県

流量は断面積×流速(速さ)になる。概算すると流速は2.4m/sになる。普段水位の少ない時と満杯の時とは流速は違うが、断面積145m²に流速2.4m/sをかけると概ね360m³/sになる。

Bさん

計算式はわかった。ダムありきの450m³/s×8割の時の千曲川高水位はどの位か。

県

千曲川との関係は解析が非常に難しい。360m³/sは自然流下で千曲川本川に流れ込むものである。

Bさん

我々は浅川の遊水地の中で育ってきた。自然流下出来ない時には樋門が閉まる。排水機場の能力はどの位あるのか。

県

千曲川合流点の排水機場は、従前と新しい物を含め44m³/s。

Bさん

450m³/sに対し1割の44m³/sのポンプの能力しかない。これで流域の遊水地等を考えていくのか。

県

排水機場は農政関係の湛水防除事業で設置されたもの。湛水防除はある程度水が溜まって仕方がないという計算でポンプ排水能力を設計したと聞いている。S58 当時に連続災害の前は14m³/sであった。S58 災害以降30m³/sが増設され、H2に完成した。その後は湛水被害がない。

浅川で想定する360m³/sは、100年確率の雨を降らせた時に立ち上がるピーク流量を示す。44m³/sとは単純に比較出来ない。ポンプ能力44m³/sは、農地が浸水した時、2~3日で排水した時にどの位の能力が必要ということから出されていると聞いている。

Bさん

土木サイドの意見はよく分かる。農政サイドで設置した時は、住宅がなかった。現在住宅がある以上、土木サイドでも住民の安定を図る上でポンプの増設等をお願いしたい。時代、次元が違う。

立ヶ花に狭窄部がある。信濃川と関川をバイパスで結ぶ等を考え、早く日本海へ水を流す方策を検討してもらいたい。新潟の信濃川は、吉田分水、関谷分水で海に出している。弥彦山を貫く計画がある。この案で長野の湛水対策をどうこう言っても仕方がない。

掘削する河川断面では、根が顔を出している。50cm掘削して大丈夫か、護岸が崩れないか心配。ブロックで4・5段上が本来の河床ではないのか。たしか、前回の計画ではそう説明された。矢板が入っているが、1~2m避けて掘削しているが、おかしな計画と思う。

県

内水問題は、千曲川と非常に関係のある問題。千曲川前後の改修バランスの問題がある。立ヶ花は勿論であり、開削すれば水位も下がる。先週の説明会でも、浅川の問題は千曲川

の改修なくして考えられないと言う意見も出た。知事も、ぜひ国へ提案すると話していた。浅川の内水と改修は、難しいモノがある。360m³/s と示してあるのは、洪水が一番流れる時。内水氾濫の起こる時は、千曲川の水位が上がり、浅川の水が出た時。例えば 360m³/s でなくとも、100m³/s、200m³/s でも、長く水が出ると湛水となる。逆に、360m³/s の水が出て短い時間であれば氾濫とならない。千曲川は広い流域で降る。その到達時間と水の変動、これと浅川の 360m³/s の流量が合う確率など、内水については既往の事例をみて解析していかねばならない。ポンプ排水を含めて、溜まったモノを出す考えはある。検討委員会でも出たが、上流での森林整備、公共施設への貯留、遊水地など、流域全体で考えていかねばならない問題をこれから検討していく。

下流部の河床掘削については、下流は川幅が広く、掘削深は 20cm 程度となる。従前の河床高は土台天端としてある。地盤の関係で土台には矢板基礎が入っている。掘削するにも、土台前に根固等、従前の構造物に影響しないよう詳細設計の中で検討する。

Cさん

S56～S58年の水害には、2つの欠陥があった。1つは、ポンプ(14m³/s)が電気式のため、停電により2時間動かなかった。2つは、豊野町の河川改修が遅れ、長野市以北の河川改修が進んでいた。洪水時、上流の流れが速く、下流豊野周辺の流れは遅かった。ポンプがあっても汲み出すための溜池へ水が到達せず、ポンプが一時稼働できなかった。流域対策の2割でポンプの増設はするのか。溜池は、何m³位溜められるか。停電の心配は大丈夫か。当時S56～S58年の浅川の流量と雨量はどうなのか。

県

河川改修で8割方確保し、残り2割は検討中であるが、遊水地、植林など他の対策で2割分の流域対策を行う。

ポンプアップは内水対策となるため、2割には入らない。内水対策は今後検討していく。何m³溜められるかについては、農政サイドに確認し、データを後日回答する。以前より、浅川も改修されて流れるようになっていると思う。ポンプ場の吸い込みのレベルは、後に確認の上回答する。

雨量、流量については、S56は113mm/日、計算では170m³/sと想定される。

S57は72mm/日、157m³/s、S58は87mm/日、159m³/s。

雨量と流量は単純比較が出来ない。だから降った場合とまとまって降った場合では、計算上流出の仕方が異なる。過去にあった災害の雨の振り方をベースに、確率により計算している。

長野観測所の観測では、連続雨量でS56.8.22は117mm、S57.9.2は124mm、S58.9.28は132mmとなっている。

Dさん

雨が降るたびに川の水位を心配し、水門を閉めれば一晩中炊き出しをしながら水防で待機してきた。洪水の後、浅川も鳥居川も流量がないのに、千曲川上流のダムが放流した時は千曲川の水位がどんどん上昇する。

当時から比べると浅川はかなりの流量を流せるようになったが、千曲が増水するといくらポンプアップしてもダメ。災害を無くす上で今後の大きな問題点。上流のダムと開削すると飯山の反対があるが立ヶ花狭窄部の問題などは何十年も行ってこなかった。

18号バイパスを造る時は、柳林等を取って、鳥居川から小布施も見え、水が少ない時は子供でも渡れた。今は真っ暗で狸や狐が出るくらい。柳原から立ヶ花は密林地帯。豊野は水を溜める場所となっている。その点を考え地域としても要請をしていかねばならないが、浅川を論じる前に千曲川の改修が必要である。

県

千曲川の改修計画は、前後のバランスを取る中で県、地域及び市町村を含め提言したい。

Eさん

7日にも他の方がお願いしたが、千曲川の件、是非よろしく。千曲を見ているお年寄りが、

千曲川に土砂が堆積していると言っている。堆砂除去をお願いしたい。
浅川部会では、国交省の職員は事務的だった。自然の猛威は甘くない。国と県の縦割りを
感じた。7日をお願いしたが、お願いでなく実践して頂きたい。私も2回水害に遭い、家
を造って住む前にまた家を壊した経験もある。浅川は改修された感じもするが、千曲川が
心配。机上だけの意見でなく、実践して頂きたい。

県

千曲川の河床の件も、改修と併せてお願いしていきたい。河床の堆積については、浅川を
含めこまめに実施していきたい。今年度も行っている。知事も浚渫に力を入れている。

Fさん

町、県、国に質問しても結論が出ず、もどかしさを感じる。前回の鳥居川の時
も問い合わせをしたが、最終的決断は町長が決断を下した。しっかりした判断
をしてほしい。浅川を改修しても千曲川が狭ければ何にもならない。下流に無堤箇所が
あり難しいとのことだが、必要なことにはお金をかけて、千曲川の改修もよろしく願
いしたい。

Gさん

河川工事は下流から改修するべきである。先程のポンプアップの話でも、途中に狭窄部分
があれば水が流下しないとの話があった。下流部分の未改修区間の工事をして頂きたい。
また、着手及び完成はいつか。

県

未改修区間は、本来H13～14で終わる予定であったが中断している。この上流の天井
川区間が一番危険な部分であり、新幹線の交差等の処理もあり、ネック箇所の眼鏡橋の解
消を早くするために天井川部分を先行実施した経過がある。今後は、未改修区間の改修を
優先的に実施していきたい。国への説明はこれからであるのでいつ頃とは言えないが、こ
の原案を早く成案として着手していきたい。

Bさん

新幹線の立ヶ花鉄橋の件だが、新幹線のルートは旧道を利用し、立ヶ花を広くしておい
て頂きたい。鉄建公団に要望してもらいたい。

県

鉄建公団へそのような意見があったことを伝えていきたい。

Gさん

今回の改修は僅か10m³/s分の改修。豊野町分は20～30cmの掘削であるが、1/1000の勾配
では土砂がたまり、毎年掘削をしなければ流量の確保は出来ない。上流、中流で決壊すれ
ば、水は下流、豊野・長沼・三才・古里へ来る。

残る2割の流域対策が心配。流域対策と改修はセットでなければならない。2割分は森林
整備、遊水地、貯留施設と書かれているので、流域対策に入ってくると予測される。森林
整備で、浅川上流の雑木林にブナを植えた場合、雑木林とブナ林では保水量の差はどの位
あるのか。洪水時は、土地が飽和状態の時である。きちんと明示して頂きたい。森林整備
は結構なことと思うが、果たして治水対策になるかは疑問。

遊水地は上流に造らねば効果がない。部会等で田子川合流点、三念沢合流点等の下流部で
の遊水地の話が出たが、これでは中流部等には用が立たないことを認識して頂きたい。
溜池、グランド、家庭のドラム缶などの貯留施設は、治水に貢献する対策とは思わない。
450m³/sを基本にするといわれるが、本当に(流域対策が)出来るか疑問。8割の360m³/s
で止めないよう強く要望する。

三念沢と、用地買収が済んでいる隈取川が天井川のまま停滞して酷い状況。これが停滞し
ているのは豊野町として残念。早急に再開してもらいたい。

県

森林等については検討委員会、部会でも激論があった。2割についてはまだ方針が出ていない。推進本部の流域対策班で7月を目処に出す。河川改修と合わせて450m³/sとなる。基本方針は変えない。三念沢、隈取川も改修が中断し、ご心配をおかけしている。本川、流域対策を含めながら支川の見直しを行い、早く着手できるよう国に話していきたい。

Aさん

今も御指摘があったが、河川改修を行えば行うほど、上流から下流へ早く水が流れ、豊野町に水が溜まるのが心配。河川改修は進めやすいとのことで了解は出来るが、それだけでは十分ではない。千曲川の改修は本筋だが、時間がかかるため、それまでの間として、上流での遊水を上流でも負担して頂く。豊野だけでの負担は困るので、上流でも越水して頂き、ある程度遊水して頂くことを強く要望する。

Bさん

千曲川の水は飯山の西大滝ダムで100%を発電所に持っていつている。あの断面で千曲川の流量をシャットアウトしている。当然、上越の人は怒るかもしれないが、是非、立ヶ花から田口（新潟県）まで隧道を掘って、関川へ早く流してもらいたい。浅川だけの問題ではない、国家プロジェクトとして、長野県の治水対策として早く具体化するよう要望する。